

2025 年度
(第 11 期)
事 業 報 告 書

自 2025 年 1 月 1 日
至 2025 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2025 年度（第 11 期）事業報告書

1. 事業の概況

(1) 地域医療・福祉振興事業

当財団は、定款において「医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与すること」を目的に掲げています。

超高齢社会の一層の進展、人生 100 年時代にあつて、国民の皆が生き生きと活躍し、安心して暮らしていくためには、健康が維持されていること、活躍の場（生き甲斐）があることの両者が重要とされ、「地域医療・福祉の振興」の領域は、単に医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の維持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する取り組み、さらには地域共生社会の実現にまで広がりを見せています。

上記の認識のもと、「地域医療・福祉の振興」を目的とする活動を行う事業を「地域医療・福祉振興事業」と定義のうえ、当該事業における諸活動について、以下のとおり事業区分ごとの公益性に関するチェックポイントに該当するものとして公益認定を受け、これに沿って当該事業を遂行しています。

①地域医療・福祉の振興を目的とした助成活動

事業区分：(14) 助成（応募型） *旧書式では(13)

チェックポイント	該当する旨の説明
1.当該助成が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。	1.当該活動は、地域医療・福祉の振興に資する研究や活動を行う者を助成するもので、地域医療・福祉の振興の目的に沿って、助成の名称、趣旨、助成金額、募集方法、選考基準等の当該助成実施に必要な事項を定め、募集、選考、授与等を行うものです。趣旨等は募集要項に記載しており、ホームページで公表をしています。
2.応募の機会が、一般に開かれているか。	2.ホームページから募集要項等応募に必要な情報を入手でき、誰でも応募できます。また、SNS 等での告知も行っています。
3.助成の選考が公正に行われることになっているか。(例：個別選考に当たって関係者の排除)	3.特定の組織に偏らない選考委員により構成される選考委員会が選考を行っています。選考委員会に先立ち、応募すべてを匿名化したうえで、各選考委員により選考基準に基づく評価が行われ、選考委員会ではその上位から助成対象に値するか検討が行われます。また、選考委員の関係者が応募してきた場合には、当該

チェックポイント	該当する旨の説明
<p>4. 専門家など選考に適切な者が関与しているか。</p> <p>5. 助成した対象者、内容等を公表しているか。(個人名又は団体名の公表に支障がある場合、個人名又は団体名の公表は除く。)</p> <p>6. (研究や事業の成果があるような助成の場合、) 助成対象者から、成果についての報告を得ているか。</p>	<p>選考委員は当該応募に関する決議から外れることとなっています。(スギホールディングス株式会社の関係者は助成対象候補から除かれます。)</p> <p>4. 選考委員は、医療介護分野の専門家が担っています。</p> <p>5. 助成対象者及び内容は、ホームページや報告集で公表しています。</p> <p>6. 助成対象者には、報告集に掲載する成果報告の原稿の提出とともに、授与式での発表を行っていただいています。</p>

② 地域医療・福祉の振興を目的とした褒賞活動

事業区分：(16) 表彰、コンクール *旧書式では(14)

チェックポイント	該当する旨の説明
<p>1. 当該表彰、コンクールが不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として、位置づけ、適当な方法で明らかにしているか。</p> <p>2. 選考が公正に行われることになっているか。(例：個別選考に当たっての直接の利害関係者の排除)</p> <p>3. 選考に当たって専門家が適切に関与しているか。</p> <p>4. 表彰、コンクールの受賞者・作品、受賞理由を公表しているか。</p> <p>5. 表彰者や候補者に対して当該表彰に係る金銭的な負担(応募者から一律に徴収する審査料は除く。)を求めてないか。</p>	<p>1. 当該活動は、地域医療・福祉の振興に貢献する活動を実施した者を褒賞するもので、地域医療・福祉の振興の目的に沿って、褒賞の名称、趣旨、褒賞金額、募集方法、選考基準等の当該褒賞実施に必要な事項を定め、募集、選考、授与等を行うものです。趣旨等は募集要項に記載しており、ホームページで公表をしています。</p> <p>2. 特定の組織に偏らない審査委員により構成される審査委員会が審査を行っています。また、審査対象が審査委員の関係者である場合には、当該審査委員は当該審査対象に関する決議から外れることとなっています。(スギホールディングス株式会社の関係者は褒賞対象候補から除かれます。)</p> <p>3. 審査委員は、医療介護分野の専門家が担っています。</p> <p>4. 褒賞対象及び内容は、ホームページや報告集への掲載、授与式の開催等により公表しています。</p> <p>5. 褒賞対象や候補者に当該褒賞に係る金銭的な負担は一切求めていません。</p>

③ 地域医療・福祉の振興を目的とした調査・研究活動

事業区分：(6) 調査、資料収集

チェックポイント	該当する旨の説明
<p>1. 当該調査、資料収集が不特定多数の者の利益の増進に寄与すること</p>	<p>1. 当該活動は、地域医療・福祉の振興に資する調査・研究を行うもので、地域医</p>

チェックポイント	該当する旨の説明
<p>を主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。</p> <p>2.当該調査、資料収集の名称や結果を公表していなかったり、内容についての外部からの問合せに答えないということはないか。</p> <p>3.当該調査、資料収集に専門家が適切に関与しているか。</p> <p>4.当該法人が外部に委託する場合、そのすべてを他者に行わせること（いわゆる丸投げ）はないか。</p>	<p>療・福祉の振興の目的に沿って、調査・研究を遂行する会合の名称（研究会等）、趣旨、座長等の当該調査・研究実施に必要な事項を定め、情報収集、議論、意見集約、成果発表等を行うものです。各研究会等の趣旨は、ホームページへの掲載等により公表しています。</p> <p>2.当該活動の成果等は、報告冊子の無償配布やホームページへの掲載により公表しています。内容についての外部からの問い合わせには可能な限り対応しています。</p> <p>3.各研究会等には、医療介護分野等の専門家が相当数属しています。</p> <p>4.現段階では外部委託そのものはありません。</p>

④地域医療・福祉の振興を目的とした人材育成・啓発活動

事業区分：(3) 講座、セミナー、育成

チェックポイント	該当する旨の説明
<p>1.当該講座、セミナー、育成（以下「講座等」という。）が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。</p> <p>2.当該講座等を受講する機会が、一般に開かれているか。</p> <p>3.当該講座等及び専門的知識・技能等の確認行為(受講者が一定のレベルに達したかについて必要に応じて行う行為)に当たって、専門家が適切に関与しているか。</p> <p>4.講師等に対して過大な報酬が支払われることになっていないか。</p>	<p>1.当該活動は、地域医療・福祉の振興に資する人材育成・啓発を行うもので、地域医療・福祉の振興の目的に沿って、講座・セミナー（名称の如何を問いません。以下同様。）・冊子等制作物（媒体の如何を問いません。以下同様。）等の名称、内容、提供方法等の当該人材育成・啓発実施に必要な事項を定め、講座・セミナー・冊子等制作物の提供等を行うものです。実施内容等はホームページ等で公表しています。</p> <p>2.講座・セミナー・冊子等制作物の提供等に際して、先着順、抽選等により対象を制限する場合を除き、特に制限を設けない運用をしています。基本的に無償で提供していますが、公的な単位を取得できるものについては低廉な価格で提供しています。</p> <p>3.医療介護分野等の専門家が講座・セミナーの講師や冊子等制作物の制作・監修者として関与しています。講座・セミナーの受講者の学習効果の測定は、公的な単位を取得できるものについては確認テストにより、その他のものについては受講者アンケートにより行っています。</p> <p>4.講座・セミナーの講師や冊子等制作物の制作・監修者への報酬は 10 万円以下としています。</p>

事業・活動体系は、以下のとおりです。

事業・活動体系

地域医療・福祉振興事業	
①地域医療・福祉の振興を目的とした助成活動	A. 杉浦地域医療振興助成
②地域医療・福祉の振興を目的とした褒賞活動	B. 杉浦地域医療振興賞
③地域医療・福祉の振興を目的とした調査・研究活動	C. 都市型の看護介護医療等連携研究会
	D. 医薬品適正使用協働研究会
	E. 愛知県地域再生・まちづくり研究会
④地域・医療福祉の振興を目的とした人材育成・啓発活動	F. 健康増進セミナー
	G. 地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修
	H. 冊子等制作物提供

なお、上記各活動は、当財団単独での実施によるものだけでなく、他団体等との共同での実施によるものも想定しています。

当事業年度における実施状況は、以下のとおりです。

A. 杉浦地域医療振興助成

第14回杉浦地域医療振興助成の募集・選考・授与を以下の要領で実施しました。

助成の対象	地域医療・福祉振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な研究や活動の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間 : 2025年1月1日から同年2月28日まで 応募数 : 103件 (研究分野67件、活動分野36件) 助成授与数 : 14件 (研究分野7件、活動分野7件) 助成額 : 総額10,000,000円 (研究分野7,710,000円、活動分野2,290,000円)
授与式等	2025年7月17日に帝国ホテル東京で、第14回杉浦助成の授与式を開催しました。また、第14回杉浦助成の内容、第13回杉浦助成の成果報告を当財団ホームページに公表しました。

第14回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 病院長
委員	片山 陽子	香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科 副学長 教授
委員	鈴木 匡	名古屋市立大学 特任教授

役名	氏名	所属・役職
委員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 ／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長
委員	平井 みどり	神戸大学 名誉教授／ 京都大学 大学院医学研究科 特任教授
委員	藤田 あゆみ	株式会社スギ薬局 医療営業本部 中部営業統括部 中 部営業二部
委員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医 薬情報部門責任者
委員	松本 晴年	元 名古屋市立大学病院 薬剤部 調剤主査

(注) 五十音順で記載しています。

B. 杉浦地域医療振興賞

第14回杉浦地域医療振興賞の募集・選考・授与を以下の要領で実施しました。

褒賞の対象	地域医療・福祉を振興し、国民の健康と生活の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間 : 2024年11月1日から同年12月31日まで 応募数 : 54編 褒賞授与数: 3編 褒賞内容 : 表彰盾及び副賞 2,000,000円 (総額 6,000,000円)
授与式等	2025年7月17日に帝国ホテル東京で、第14回杉浦賞の授与式を開催しました。また、第14回杉浦賞の内容を当財団ホームページに公表しました。

第14回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総 長／日本福祉大学 理事
委員	秋山 弘子	東京大学 名誉教授／東京大学高齢社会総合研究機 構・未来ビジョン研究センター 客員教授
委員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・未来ビジョ ン研究センター 教授
委員	辻 哲夫	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経 済研究機構 理事長
委員	宮島 俊彦	日本製薬団体連合会 理事長／岡山大学 客員教授／元 厚生労働省 老健局長／元 内閣官房 社会保障改革担 当室長

(注) 五十音順で記載しています。

予算対比正味財産増減計算書（杉浦地域医療振興助成・杉浦地域医療振興賞）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	1,418,299	1,418,299
その他雑収益	0	1,418,299	1,418,299
経常収益計	0	1,418,299	1,418,299
(2) 経常費用			
事業費	35,845,875	24,879,722	△10,966,153
消耗品費	10,000	54,470	44,470
印刷製本費	3,110,000	3,037,174	△72,826
その他	3,110,000	3,037,174	△72,826
諸謝金	1,092,000	741,821	△350,179
選考委員謝礼	1,092,000	741,821	△350,179
支払手数料	10,056	550	△9,506
その他	10,056	550	△9,506
租税公課	895,079	792,866	△102,213
支払助成金	20,000,000	10,000,000	△10,000,000
支払褒賞金	6,000,000	6,000,000	0
広告宣伝費	45,000	0	△45,000
会議費	3,087,740	2,835,901	△251,839
授与式会議費用	3,035,740	2,835,901	△199,839
選考委員会会議費用	52,000	0	△52,000
旅費交通費	1,396,000	1,290,729	△105,271
選考委員旅費交通費	246,000	190,660	△55,340
授与式参加者旅費交通費	900,000	929,252	29,252
その他	250,000	170,817	△79,183
通信運搬費	200,000	126,211	△73,789
経常費用計	35,845,875	24,879,722	△10,966,153
評価損益等調整前当期経常増減額	△35,845,875	△23,461,423	12,384,452
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△35,845,875	△23,461,423	12,384,452

経常収益は142万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの残余助成金の返還額を雑収益に計上したものです。

また、経常費用は2,488万円で、予算比△1,097万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 杉浦地域医療振興助成の指定募集の見送りによる支払助成金の未達（△1,000万円）
- 主に審査委員、選考委員の授与式欠席による諸謝金、旅費交通費の未達（△46万円）
- 主に授与式での控室削減による会議費の未達（△25万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計△26万円

C. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究しており、当事業年度は6回開催しました。

各回の概要は、以下のとおりです。

【第7期：医療介護分野におけるDX進展状況を学ぶ】

	開催日	テーマ／講師
第1回	2025年 1月16日 (木)	2040年に向けた地域共生社会構築：東大看護目白台プロジェクト構想を題材として／山本 則子（東京大学 大学院医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野 教授／Global Nursing Research Center センター長）
第2回	2025年 3月6日 (木)	急激な高齢化に対応する移動支援！DXの推進で、地域の課題は地域のチカラで解決する／北嶋 史誉（一般社団法人ソーシャルアクション機構／ソーシャルムーバー株式会社 代表取締役）
第3回	2025年 5月15日 (木)	湖山医療福祉グループの歩みと今後の展望／湖山 泰成（湖山医療福祉グループ 代表）
第4回	2025年 7月10日 (木)	2040年の都市部の高齢期の住まい～魅力ある集住を目指して～～単身化と困窮状態の広がり～／井上 由起子（日本社会事業大学 専門職大学院）
	2025年9月 (配信限定)	多職種協働で取り組む口腔保健活動と食支援～平時の連携強化が有事を救う～／長谷 剛志（公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長／金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 外科系医学領域 顎顔面口腔外科学分野）
第5回	2025年 11月13日 (木)	これからの要支援高齢者のフレイル予防／河野 あゆみ（大阪公立大学 看護学部 地域包括ケア科学分野 教授）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
副座長	秋山 正子	株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長
副座長	宮島 渡	日本社会事業大学 大学院 特任教授
アドバイザー	齋藤 訓子	一般社団法人全国訪問看護事業協会 参与
アドバイザー	宮島 俊彦	日本製薬団体連合会 理事長／岡山大学 客員教授／元厚生労働省 老健局長／元 内閣官房 社会保障改革担当室長
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事／元 愛知県高浜市長
会員	朝田 隆	医療法人社団創知会 理事長 メモリークリニックお茶の水 院長／東京科学大学 特任教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会 員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター センター長
会 員	石山 麗子	国際医療福祉大学 大学院 教授
会 員	板谷 匠	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 室長・リハビリステーション部 部長
会 員	伊藤 善典	埼玉県立大学 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻・大学院研究科 教授
会 員	上田 恵子	公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業マネジャー
会 員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会 員	大木 一正	有限会社クリーン薬局 代表取締役
会 員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会 員	岡田 太造	兵庫県立大学 大学院経営研究科 客員教授
会 員	岡本 茂雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員／ノバケア株式会社 代表取締役
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 副会長
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員
会 員	小玉 剛	東京都歯科医師連盟 常任理事
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 代表取締役 訪問看護ステーションみけ 所長
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会 員	清水 まや	社会医療法人財団仁医会 理事 牧田総合病院 人事部長（薬剤師）
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長
会 員	関根 竜哉	株式会社フレアス 副社長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション 管理者
会 員	高橋 紘士	東京通信大学 名誉教授
会 員	高橋 望	公益財団法人さわやか福祉財団 ふれあい推進事業 特命担当リーダー
会 員	竹林 洋一	一般社団法人みんなのケア情報学会 理事長／創造する心株式会社 代表取締役／静岡大学 名誉教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	丹下 仁志	株式会社ノバケア
会 員	鶴山 芳子	公益財団法人さわやか福祉財団 常務理事
会 員	土井 茉莉子	株式会社ノバケア
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長
会 員	野中 久美子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設 本能
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター西尾 センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会科学系副所長
会 員	船木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	村上 登志子	株式会社フレアス
会 員	山下 和彦	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 教授
会 員	山下 知子	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 講師
会 員	山本 智美	株式会社マイナビ 常務取締役
会 員	弓削 健二	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員／一般社 団法人 NeighborhoodCare 代表理事
会 員	鷺見 よしみ	一般社団法人日本介護支援専門員協会 名誉会長

(注) 五十音順で記載しています。

予算対比正味財産増減計算書（都市型の看護介護医療等連携研究会）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,069,200	1,059,838	△9,362
諸謝金	603,000	508,551	△94,449
セミナー講師謝礼	438,000	369,456	△68,544
その他	165,000	139,095	△25,905
租税公課	97,200	87,783	△9,417
会議費	147,000	244,832	97,832
研究会会議費	147,000	244,832	97,832
旅費交通費	216,000	212,516	△3,484
研究会会員旅費交通費	90,000	112,507	22,507
その他	126,000	100,009	△25,991
通信運搬費	6,000	6,156	156
経常費用計	1,069,200	1,059,838	△9,362
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,069,200	△1,059,838	9,362
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,069,200	△1,059,838	9,362

経常費用は106万円で、予算比△1万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 6回のうち1回を配信限定としたことによる諸謝金の未達（△9万円）
- 貸会議室の利用が想定よりも多かったことによる会議費の超過（+10万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計△1万円

D. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究しており、当事業年度は6回開催しました。

各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第57回	2025年 2月12日 (水)	日本版抗コリン薬リスクスケールの作成と今後／溝神 文博 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 薬物治療管理主任・長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室長)
第58回	2025年 4月16日 (水)	在宅緩和ケア(がん患者)における薬剤師の役割／ 笠原 庸子(医療法人秋本クリニック 地域医療連携室長)
第59回	2025年 6月11日 (水)	高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2025 の策定とその概要／小島 太郎(国際医療福祉大学 医学部 老年病学 教授／社会福祉法人邦友会 国際医療福祉大学成田老年医療福祉センター センター長／社会福祉法人邦友会 国際医療福祉大学成田老年医療福祉センター 介護老人保健施設オルタンシア 施設長)
	2025年8月 (配信限定)	ポリファーマシー対策アプローチの1つとしての患者中心のケア／ 石井 充章(北海道科学大学 薬学部 薬学科 臨床薬学部門 薬物治療学分野 講師／筑波大学 医学医療系 客員研究員)
第60回	2025年 10月8日 (水)	高齢者医療の質を高める処方の見直し～ポリファーマシー対策で見える患者中心の医療～／島崎 良知(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 薬剤科長)
第61回	2025年 12月17日 (水)	高齢者薬物療法の適正使用の取り組み／ 柴田 ゆうか(日本大学 薬学部 薬剤師教育センター 教授)

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 理事長／東京大学 名誉教授
副座長	倉田 なおみ	昭和医科大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門・臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 病院准教授
副座長	水上 勝義	筑波大学 人間総合科学学術院 教授
会員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
会員	五十嵐 中	横浜市立大学医学部公衆衛生学 准教授／東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 客員准教授
会員	石崎 達郎	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 研究部長
会員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部長 教授
会員	大嶋 繁	城西大学 薬学部 薬学科 教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	大田 秀隆	秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長 教授
会 員	大谷 道輝	公益財団法人佐々木研究所 研究事務室 室長（薬学博士）
会 員	大屋 亜希子	一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創造機構）代表理事
会 員	岡崎 光洋	秋田大学附属病院 医療DXセンター 准教授／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	恩田 光子	大阪医科薬科大学 薬学部 社会薬学・薬局管理学研究室 教授
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 顧問
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部 学部長 教授
会 員	川添 哲嗣	武庫川女子大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター研究室 教授
会 員	岸本 桂子	昭和医科大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 教授
会 員	栗原 正亮	有限会社みわ薬局 代表取締役副社長／一般社団法人広島市薬剤師会 理事
会 員	小島 太郎	国際医療福祉大学 医学部 教授
会 員	小西 公子	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学 研究員
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 特別顧問
会 員	柴田 ゆうか	日本大学 薬学部 薬剤師教育センター 教授
会 員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 特任教授
会 員	鈴木 慶介	公益社団法人地域医療振興協会 薬剤部会 代表／台東区立台東病院・老人保健施設千束
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長
会 員	橋本 浩伸	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	浜田 将太	東京薬科大学 薬学部 薬学科 薬剤疫学講座 教授
会 員	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長
会 員	平井 みどり	神戸大学 名誉教授／京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学 特任教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授
会 員	福田 八寿絵	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	舩津 久美	社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会 薬剤検査料 科長
会 員	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特任研究員
会 員	舩本 祥一	筑波大学 医学医療系地域総合診療医学講座 講師
会 員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおぼの里
会 員	真野 泰成	東京理科大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	水野 智博	藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学 准教授
会 員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部（日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師）
会 員	宮崎 さやか	静岡県立大学 薬食生命科学総合学府 薬学研究院薬食研究推進センター
会 員	八木原 栄	東京都福祉保健局 障害者施策推進部／東京都立府中療育センター 薬剤科 薬剤科長
会 員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 薬学科 教授／慶応義塾大学薬学部附属薬局 薬局長
会 員	山中 崇	東京大学 大学院医学系研究科 在宅医療学講座 特任教授
会 員	吉尾 隆	東邦大学 薬学部 医療薬学教育センター 臨床薬学研究室 教授（精神科専門薬剤師）
会 員	渡部 大介	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 薬剤部

（注）五十音順で記載しています。

予算対比正味財産増減計算書（医薬品適正使用協働研究会）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,006,500	800,537	△205,963
諸謝金	603,000	510,005	△92,995
セミナー講師謝礼	438,000	370,910	△67,090
その他	165,000	139,095	△25,905
租税公課	91,500	62,735	△28,765
会議費	120,000	174,580	54,580
研究会会議費	120,000	174,580	54,580
旅費交通費	189,000	49,426	△139,574
研究会会員旅費交通費	63,000	19,070	△43,930
その他	126,000	30,356	△95,644
通信運搬費	3,000	3,791	791
経常費用計	1,006,500	800,537	△205,963
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,006,500	△800,537	205,963
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,006,500	△800,537	205,963

経常費用は80万円で、予算比△21万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 6回のうち1回を配信限定としたことによる諸謝金の未達（△9万円）
- 貸会議室の利用が想定よりも多かったことによる会議費の超過（+5万円）
- 講師のWEB参加が想定よりも多かったことによる旅費交通費の未達（△14万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計△3万円

E. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、4人に1人が75歳以上となることが予想される2060年、その当事者世代が、個別テーマを徹底的に深掘りし、何が必要なのかを明らかにすることを目的としており、当事業年度は、次世代チームでのこれまでの活動を振り返り総括する座談会を2025年9月19日に開催し、同年12月に報告冊子「愛知県における長生きを喜べるまちづくりとは何か」を作成しました。

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 理事
会員	青山 幸一	豊根村 住民課長
会員	岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会（NPO ふくりび）TOTONOUハウス責任者
会員	都築 晃	藤田医科大学地域包括ケア中核センター（医学博士・理学療法士）
会員	西岡 麻知子	南医療生活協同組合 常務理事
会員	長谷川 友紀	コミュニティ・ユース・バンク momo 共同代表
会員	三矢 勝司	名古屋学院大学 現代社会学部 准教授／特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 理事
会員	若杉 玲子	長久手市 教育部次長
アドバイザー	後 房雄	名古屋大学 名誉教授
オブザーバー	糸 和彦	名古屋市立大学 大学院薬学研究科・薬学部 神経薬理学分野 教授

（注）五十音順で記載しています。

予算対比正味財産増減計算書（愛知県地域再生・まちづくり研究会）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,158,530	2,117,870	△40,660
印刷製本費	1,400,000	1,787,000	387,000
その他	1,400,000	1,787,000	387,000
諸謝金	82,500	27,819	△54,681
その他	82,500	27,819	△54,681
支払手数料	20,000	0	△20,000
その他	20,000	0	△20,000
租税公課	196,230	191,985	△4,245
会議費	270,000	66,801	△203,199
研究会会議費	270,000	66,801	△203,199
旅費交通費	180,000	44,265	△135,735
研究会会員旅費交通費	180,000	44,265	△135,735
通信運搬費	9,800	0	△9,800
経常費用計	2,158,530	2,117,870	△40,660
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,158,530	△2,117,870	40,660
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,158,530	△2,117,870	40,660

経常費用は212万円で、予算比△4万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 開催回数が想定を下回ったこと等による諸謝金、会議費、旅費交通費の未達（△39万円）
- 報告冊子作成にかかる費用が想定を上回ったことによる印刷製本費の超過（+39万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計△3万円

F. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、年齢を重ねても、健やかに暮らしていくのに役立つ講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施しており、当事業年度は4回開催しました。

概要は、以下のとおりです。

開催	テーマ／講師	参加人数
2025年3月16日(日) 7会場(埼玉県さいたま市大宮区・東京都千代田区・東京都港区・石川県金沢市・愛知県大府市・愛知県名古屋市西区・大阪府大阪市北区)	明るくさわやかに生きる～がんに負けない社会を～／アグネス・チャン(歌手・エッセイスト・教育学博士(Ph.D)) ドラッグストアで健康になろう／杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 代表取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	2,251名
2025年6月15日(日) 7会場(埼玉県さいたま市大宮区・東京都千代田区・東京都港区・石川県金沢市・愛知県大府市・愛知県名古屋市西区・大阪府大阪市北区)	体の健康、心の健康／増田 明美(スポーツジャーナリスト／大阪芸術大学 教授) ドラッグストアで健康になろう／杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 代表取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	2,453名
2025年9月21日(日) 7会場(埼玉県さいたま市大宮区・東京都千代田区・東京都港区・石川県金沢市・愛知県大府市・愛知県名古屋市西区・大阪府大阪市北区)	笑って健康と幸せをつかむ鎌田式健康法～時間栄養学・親切は体にいい・朝タン朝ベジのすすめ～／鎌田 實(諏訪中央病院 名誉院長／地域包括ケア研究所 所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表) 中高年女性の認知症予防も含めたヘルスケア／小池 浩司(小池レディースクリニック 院長／日本補完代替医療学会 理事) ドラッグストアで健康になろう／杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 代表取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	2,366名
2025年11月16日(日) 7会場(埼玉県さいたま市大宮区・東京都千代田区・東京都港区・石川県金沢市・愛知県大府市・愛知県名古屋市中村区・大阪府大阪市北区)	大丈夫だよ、がんばろう！／山田 邦子(お笑いタレント) ドラッグストアで健康になろう／杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局 代表取締役副社長／公益財団法人杉浦記念財団 副理事長)	2,027名

予算対比正味財産増減計算書（健康増進セミナー）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	15,870,800	34,064,558	18,193,758
消耗品費	10,000	18,556	8,556
印刷製本費	910,000	750,000	△160,000
その他	910,000	750,000	△160,000
諸謝金	400,000	400,000	0
セミナー講師謝礼	400,000	400,000	0
租税公課	1,442,800	3,096,774	1,653,974
会議費	12,000,000	28,800,000	16,800,000
セミナー会議費用	12,000,000	28,800,000	16,800,000
旅費交通費	148,000	5,600	△142,400
セミナー講師旅費交通費	28,000	0	△28,000
その他	120,000	5,600	△114,400
通信運搬費	960,000	993,628	33,628
経常費用計	15,870,800	34,064,558	18,193,758
評価損益等調整前当期経常増減額	△15,870,800	△34,064,558	△18,193,758
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△15,870,800	△34,064,558	△18,193,758

経常費用は 3,406 万円で、予算比 +1,819 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 当セミナーに係る費用の大部分を共催者のスギ薬局に依存していましたが、参加機会（会場数・参加人数）の拡充等を踏まえ、会場費用を応分負担したこと等による会議費、租税公課（消費税）の超過（+1,845 万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計△26 万円

G. 地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修

地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成に資する講座を開設しており、当該研修の受講により、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することができます。なお、当事業年度末日現在の提供講座数は 213 講座、登録受講者数は 7,725 名です。

予算対比正味財産増減計算書（地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	40,000,000	34,334,368	△5,665,632
受取研修会費	40,000,000	34,334,368	△5,665,632
経常収益計	40,000,000	34,334,368	△5,665,632
(2) 経常費用			
事業費	22,988,390	17,958,711	△5,029,679
印刷製本費	10,500,000	6,170,000	△4,330,000
教材撮影編集費	10,500,000	6,170,000	△4,330,000
諸謝金	1,137,500	602,731	△534,769
セミナー講師謝礼	1,137,500	602,731	△534,769
支払手数料	10,479,800	10,558,740	78,940
ID管理費	3,538,000	4,459,600	921,600
日本薬剤師研修センター認定費	3,805,000	3,300,000	△505,000
その他	3,136,800	2,799,140	△337,660
租税公課	△58,510	△273,767	△215,257
旅費交通費	288,000	228,307	△59,693
セミナー講師旅費交通費	48,000	0	△48,000
その他	240,000	228,307	△11,693
通信運搬費	9,600	700	△8,900
減価償却費	632,000	672,000	40,000
経常費用計	22,988,390	17,958,711	△5,029,679
評価損益等調整前当期経常増減額	17,011,610	16,375,657	△635,953
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	17,011,610	16,375,657	△635,953

経常収益は 3,433 万円で、予算比△567 万円となりました。受取研修会費が前期実績の 2,293 万円からは+1,141 万円となったものの、予算には届きませんでした。また、経常費用は 1,796 万円で、予算比△503 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 研修コンテンツ拡充計画が当年度中に完了することを想定していたものの、7 割程度が次年度に繰越しとなったこと等による印刷製本費、諸謝金、租税公課（消費税）の未達（△508 万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計+5 万円

H. 冊子等制作物提供

上記各活動に関連して当財団が制作した冊子等の無償贈呈に対する申込みをホームページ等で受け付け、また、同じく当財団が制作した電子ファイルを無償でダウンロードできるようホームページに掲載する等、学習機会を提供しています。

■実施中の冊子等の無償贈呈

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-cooperation/>

- ・ 都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集Vol.5
- ・ 都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集Vol.6
- ・ 都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集Vol.7

■実施中の無償ダウンロードできる電子ファイル掲載

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-townplan/>

- ・ 愛知県地域再生・まちづくり研究会 長生きを喜べるまちへ「愛知への提言」
- ・ 愛知県地域再生・まちづくり研究会 長生きを喜べるまちへ「真の高齢問題は40年後にくる」
- ・ 愛知県地域再生・まちづくり研究会 次世代チーム報告 長生きを喜べるまちをつくるために「未来の生き方改革」
- ・ 愛知県における長生きを喜べるまちづくりとは何か

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-lifespan/>

- ・ 介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動

<https://sugi-zaidan.jp/smf/book-reward/>

- ・ 第11回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集
- ・ 第12回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集
- ・ 第13回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集
- ・ 第14回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集

I. 公益事業共通

公益事業共通には、個別の公益活動に属さない収益や費用を各活動共通のものとして計上しています。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,172,338	11,172,338	0
基本財産受取利息	46,338	46,338	0
基本財産受取配当金	11,126,000	11,126,000	0
受取寄付金	21,500,000	29,728,653	8,228,653
受取寄付金	21,500,000	29,728,653	8,228,653
経常収益計	32,672,338	40,900,991	8,228,653
(2) 経常費用			
事業費	8,246,728	8,772,422	525,694
支払手数料	120,000	126,340	6,340
その他	120,000	126,340	6,340
租税公課	584,728	633,878	49,150
給料手当	7,542,000	8,012,204	470,204
経常費用計	8,246,728	8,772,422	525,694
評価損益等調整前当期経常増減額	24,425,610	32,128,569	7,702,959
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	24,425,610	32,128,569	7,702,959

経常収益は、4,090 万円で、予算比+823 万円となりました。以下のとおり当年度の公益事業共通への受取寄付金計上額を算出した結果、受取寄付金が予算比+823 万円となりました。

当年度の一般寄附金総額	(a)	58,762,000
当年度の公益目的事業会計の事業費計上額	(b)	89,653,658
当年度の公益目的事業会計の経常収益計上額 (受取寄付金以外)	(c)	46,925,005
当年度の特定期間資産計上増減額	(d)	△13,000,000
前年度の公益目的事業会計の余剰金	(e)	0
当年度の公益事業共通への受取寄付金計上額	(f) : (b) - (c) + (d) - (e)	29,728,653
当年度の一般事業への受取寄付金計上額	(a) - (f)	29,033,347

また、経常費用は 877 万円で、予算比+53 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 7月から週2日・1名を業務委託契約により増員したこと等による給料手当、租税公課（消費税）の超過（+52 万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計+1 万円

(2) 一般事業

一般事業には、当財団の管理・運営に係る収益及び費用を計上しています。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000,000	4,000,000	0
基本財産受取配当金	4,000,000	4,000,000	0
受取寄付金	21,500,000	29,033,347	7,533,347
受取寄付金	21,500,000	29,033,347	7,533,347
雑収益	46,338	157,921	111,583
受取利息	46,338	157,921	111,583
経常収益計	25,546,338	33,191,268	7,644,930
(2) 経常費用			
管理費	19,708,177	17,433,996	△2,274,181
役員等報酬	2,000,000	1,600,000	△400,000
評議員報酬	700,000	500,000	△200,000
理事報酬	900,000	650,000	△250,000
監事報酬	400,000	450,000	50,000
消耗品費	100,000	74,493	△25,507
印刷製本費	3,313,500	2,416,671	△896,829
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	1,166,450	1,158,159	△8,291
租税公課	1,458,827	1,259,324	△199,503
給料手当	2,148,000	2,187,555	39,555
支払寄付金	300,000	500,000	200,000
広告宣伝費	1,200,000	1,200,000	0
ホームページ関連費用	1,200,000	1,200,000	0
会議費	6,020,000	5,501,440	△518,560
旅費交通費	270,600	170,067	△100,533
評議員旅費交通費	60,000	24,510	△35,490
理事旅費交通費	104,000	41,387	△62,613
監事旅費交通費	56,600	50,618	△5,982
職員旅費交通費	50,000	53,552	3,552
通信運搬費	746,800	506,222	△240,578
電話料	96,000	88,915	△7,085
その他	650,800	417,307	△233,493
減価償却費	304,000	304,000	0
雑費	500,000	376,065	△123,935
その他	500,000	376,065	△123,935
経常費用計	19,708,177	17,433,996	△2,274,181
評価損益等調整前当期経常増減額	5,838,161	15,757,272	9,919,111
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,838,161	15,757,272	9,919,111

経常収益は、3,319万円で、予算比+764万円となりました。

また、経常費用は1,743万円で、予算比△227万円となりました。主な差異は以下のとおりです。

- 役員等の評議員会、理事会の欠席による役員等報酬、旅費交通費の未達（△50万円）
- リーフレットを作成しなかったこと、PR用ポスターの更新を数値等のアップデートのみとしたことによる印刷製本費の未達（△90万円）
- 支援者への感謝状贈呈式に係る費用が抑えられたことによる会議費の未達（△52万円）
- 上記以外の費用科目の差異合計△36万円

2025年度（第11期）寄附金受入状況

当事業年度の寄附金の受入状況は、以下のとおりです。

- 総件数 454 件
うち法人から 336 件、うち個人から 118 件
- 総 額 58,762,000 円
うち法人から 51,600,000 円、うち個人から 7,162,000 円

なお、寄附金取扱規程に基づき、受取寄付金として公益事業共通に29,728,653円を、一般事業に29,033,347円をそれぞれ計上しています。

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書2～3頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益1億984万円（前年度比+2,616万円）となり、インターネット研修の受取会費が前年度比+1,141万円、受取寄付金が前年度比+1,335万円となったことが主な要因です。

また、経常費用は、事業費8,965万円（前年度比+3,988万円）、管理費1,743万円（前年度比+298万円）、合計1億709万円（前年度比+4,286万円）となり、事業費は健康増進セミナーの会場設備等に係る会議費が前年度比+2,882万円、インターネット研修コンテンツ充実等に係る印刷製本費が前年度比+662万円、管理費は支援者向けの感謝状贈呈式に係る会議費が前期比+352万円となったことが主な要因です。

これにより、当期経常増減額は276万円（前年度比△1,670万円）となり、経常外増減がなかったため、当期一般正味財産増減額も276万円（前年度比△1,670万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高7,496万円から+276万円の7,771万円となりました。

指定正味財産増減の部では増減がなかったため、指定正味財産期末残高は期首残高と同額の208億4,791万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は209億2,562万円（前年度比+276万円）となりました。

正味財産増減計算書の要旨

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	109,844,926	83,688,875	26,156,051
(2) 経常費用			
事業費	89,653,658	49,772,655	39,881,003
管理費	17,433,996	14,455,558	2,978,438
経常費用計	107,087,654	64,228,213	42,859,441
評価損益等調整前当期経常増減額	2,757,272	19,460,662	△16,703,390
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,757,272	19,460,662	△16,703,390
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,757,272	19,460,662	△16,703,390
一般正味財産期首残高	74,956,367	55,495,705	19,460,662
一般正味財産期末残高	77,713,639	74,956,367	2,757,272
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
III 正味財産期末残高	20,925,624,011	20,922,866,739	2,757,272

(2) 貸借対照表 (決算報告書 1 頁)

流動資産は、9,049 万円 (前年度比 +2,908 万円) となり、固定資産は、208 億 5,924 万円 (前年度比 △1,398 万円) となり、資産合計は、209 億 4,973 万円 (前年度比 +1,509 万円) となりました。また、流動負債は、2,411 万円 (前年度比 +1,233 万円) となり、固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

上記の増減の主な要因は、以下の事項によるものです。

- ▶ 事業費を賄うための公益事業準備資金 1,300 万円の取崩しに伴う同資金 1,300 万円の減少、現金預金 1,300 万円の増加。
- ▶ 前年度は、インターネット研修の大口法人との会費の交渉が期末に及んだため、期中に前年度分の会費 943 万円の支払いを受けていなかったものの、当年度は、当該大口会員から期中に当年度分の 1,160 万円、翌年度分の 1,160 万円の会費の支払いを受けたことに伴う未収金 943 万円の減少、現金預金 2,320 万円の増加、前受金 1,160 万円の増加。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録 (決算報告書 8 頁) に記載のとおりです。

貸借対照表の要旨

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	86,332,355	50,349,652	35,982,703
未収金	1,629,660	11,019,264	△9,389,604
前払金	1,673,345	1,233	1,672,112
その他	857,024	47,180	809,844
流動資産合計	90,492,384	61,417,329	29,075,055
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	20,847,967,983	20,847,971,645	△3,662
基本財産合計	20,847,967,983	20,847,971,645	△3,662
(2) 特定資産			
公益事業準備資金	0	13,000,000	△13,000,000
特定資産合計	0	13,000,000	△13,000,000
(3) その他固定資産			
什器備品	2	2	0
ソフトウェア	1,215,167	2,191,167	△976,000
投資有価証券	10,057,611	10,061,273	△3,662
その他固定資産合計	11,272,780	12,252,442	△979,662
固定資産合計	20,859,240,763	20,873,224,087	△13,983,324
資産合計	20,949,733,147	20,934,641,416	15,091,731
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,269,473	3,553,462	716,011
前受金	18,555,654	7,312,313	11,243,341
その他	1,284,009	908,902	375,107
流動負債合計	24,109,136	11,774,677	12,334,459
負債合計	24,109,136	11,774,677	12,334,459
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	20,847,910,372	20,847,910,372	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	77,713,639	74,956,367	2,757,272
(うち特定資産への充当額)	57,611	61,273	△3,662
(うち特定資産への充当額)	0	13,000,000	△13,000,000
正味財産合計	20,925,624,011	20,922,866,739	2,757,272
負債及び正味財産合計	20,949,733,147	20,934,641,416	15,091,731

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2025年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職	外部役員
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 相談役	
副理事長	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長 株式会社スギ薬局 代表取締役副社長	
理事	秋下 雅弘	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 理事長／東京大学 名誉教授	
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長 ／日本福祉大学 理事	
	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授	該当
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 会長	
	山村 恵子	藤田医科大学 大学院医療科学研究科 客員教授	該当
監事	加藤 克彦	加藤克彦公認会計士税理士事務所 所長	該当
	林 伸一	林伸一公認会計士税理士事務所 所長	該当

(注) 五十音順で記載しています。

(6) 評議員

2025年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 顧問
評議員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
	倉田 なおみ	昭和医科大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部 門・臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 代表取締役社長／株 式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 特任教授
	高橋 紘士	東京通信大学 名誉教授
	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経 済研究機構 理事長
	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長

(注) 五十音順で記載しています。

(7) 事務局組織

2025年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長 1名 企画グループ 3名 総務・経理グループ 2名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2025年1月23日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第14回杉浦地域医療振興賞審査委員及び第14回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件
2025年2月20日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2024年度（第10期）事業報告書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第10回定時評議員会招集の件
2025年3月13日 理事会	【決議事項】 ・理事長（代表理事）及び副理事長（代表理事）選定の件 ・第14回杉浦地域医療振興賞承認の件
2025年5月5日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第14回杉浦地域医療振興助成実施の件
2025年7月17日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 【決議事項】 ・2025年度（第11期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2025年12月4日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 【決議事項】 ・2026年度（第12期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・第15回杉浦地域医療振興賞審査委員及び第15回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2025年3月13日 第10回定時評議員会	【報告事項】 ・2024年度（第10期）事業報告書報告の件 【決議事項】 ・2024年度（第10期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・理事5名選任の件 ・監事2名選任の件
2025年7月17日 臨時評議員会	【決議事項】 ・2025年度（第11期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2025年12月15日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2026年度（第12期）事業計画書及び収支予算書承認の件

(10) 運営体制の充実を図るための取り組み

運営体制の充実を図るため、以下の取り組みを実施しています。

- 当財団の運営が、特定の団体や勢力の利益に偏るおそれがなく、不特定かつ多数の者の利益のために適正かつ公正に行われるためには、評議員会を構成する評議員が当財団の一般的な業務運営に一定の知見を有しているだけでなく、当財団の運営の公正さに疑いを生じさせない立場にある者が評議員会の一定の割合を占めることが法の趣旨に適うとの観点から、当財団と相互に密接な関係にある者ばかりが評議員に選任されることのないようにする必要があり、これを確実に担保するために、評議員の構成については、定款において、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 10 号及び第 11 号に準じた規定を設けています。
- 理事会運営の活性化等を図る観点から、理事 7 名のうち 2 名の外部理事、及び監事 2 名のうち 2 名の外部監事を選任し、外部理事及び外部監事には適宜必要な情報提供等を行っています。

以 上

2025 年度（第 11 期）事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項の規定に基づいて記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

2026 年 2 月

公益財団法人杉浦記念財団